

たつの市臨時記者発表資料	
発表年月日	令和8年7月23日（木）
担 当 課	教育事業部歴史文化財課
電 話	0791-75-5450

報道機関各位

デジタル技術で鮮明に 神岡町唯一の前方後円墳
— 榑神社裏山2号墳の測量解析成果を展示します —

歴史文化財課では、古墳の計測データ（デジタルデータ）を保有していますが、デジタルデータはそのままでは数字の羅列にすぎず、活用することが難しいため、今年度から測量成果解析のための予算を確保し、積極的な活用を目指しています。

解析により、「赤色立体地図」（地形の起伏がわかりやすく表現された特殊な地図）を作成したところ、古墳のかたちをはっきりとわかるようになりました。今回の展示は「赤色立体地図」と解析作業の結果得られた知見を市民に速報的にお知らせするため、埋蔵文化財センターロビーにて簡易な展示を行います。

記

- 1 展 示 名 称 「収蔵庫の隠れたおたから」第3期
— 榑神社裏山2号墳赤色立体図 —
- 2 開 催 場 所 たつの市立埋蔵文化財センターロビー
- 3 開 催 期 間 令和8年8月1日（土）～9月4日（金）
（休館日 毎週火曜日（ただし8月11日は開館）、
8月12日（水）、8月30日（日））
- 4 展 示 内 容 榑神社裏山2号墳 赤色立体地図ほか 1点
- 5 観 覧 料 無料
- 6 そ の 他 今年度のロビー展示は全4期に分けて実施します
残りの1期の内容は以下のとおりです。
第4期 御津町唐荷島採集 打製石剣
会 期 令和8年9月5日（土）～10月30日（金）

ロビー展示 収蔵庫の隠れたおたから第3期 展示資料について

1. 展示資料の概要

神岡町に所在する前方後円墳、榊神社裏山2号墳の赤色立体地図と立体模型である。当該古墳は、榊神社の背後に位置する山の頂部に築造されている。

展示したのは、赤色立体地図と等高線図をもとに埋蔵文化財センター職員が作成した立体模型である。

2. 来歴

かつては円墳と考えられていたが、令和4（2022）年に岸本道昭（当時歴史文化財課所属）が前方後円墳であると初めて確認した。岸本らは令和7年に兵庫県が公開する50cmメッシュDEMデータをもとに生成した「測量図」を公表しているが、元となったデータの精度の関係から、細かな地形の判読は難しかった。

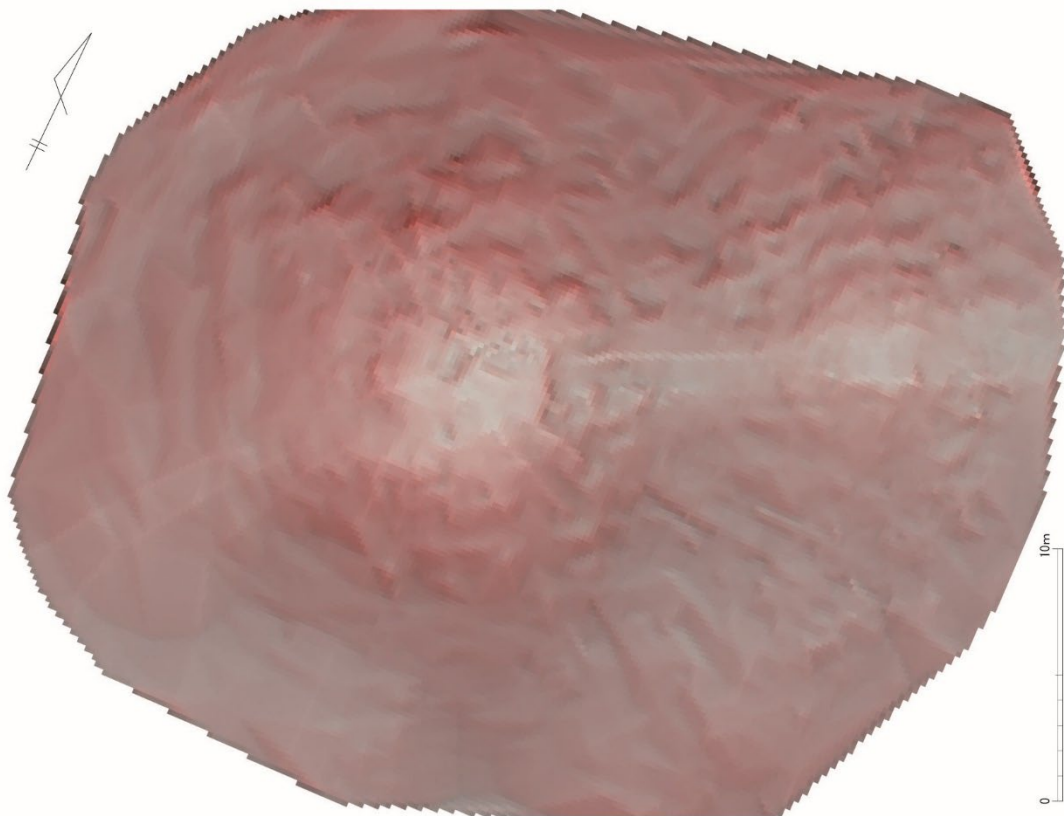
3. 解析結果

解析の結果、詳細な地形の変化を知ることが可能となった。前方部を中心に古墳の形状が鮮明になり、直径16m程度の後円部と端部が大きく開いた、いわゆる「バチ形」の前方部を有することが判明した。

4. 資料の評価

古墳時代前期半ば（今から約1700年前）の前方後円墳で、墳形は三角縁神獣鏡が出土したことで著名な揖西町龍子三ツ塚1号墳を80%縮小したものに似る。いっぽう、同じ揖保川流域に所在し、三角縁神獣鏡が出土した古墳でも龍子三ツ塚1号墳よりも古い時期に位置付けられる吉島古墳や権現山51号墳とは墳形が異なる（吉島古墳は前方後円墳だが墳形が異なり、権現山51号墳は前方後「方」墳である）。榊神社裏山2号墳の時期や性格を考えるうえで重要な知見である。

揖保川流域は前方後円墳が密集する地域（播磨全域で108基。そのうち38基が存在）だが、前期古墳の事例は西岸に限られ、東岸には存在しないとされてきた。こうしたなか、揖西平野の首長墓と目される龍子三ツ塚1号墳に近似する前方後円墳が揖保川東岸に確認されたことは、該期の地域史を考えるうえで極めて重要な事実である。

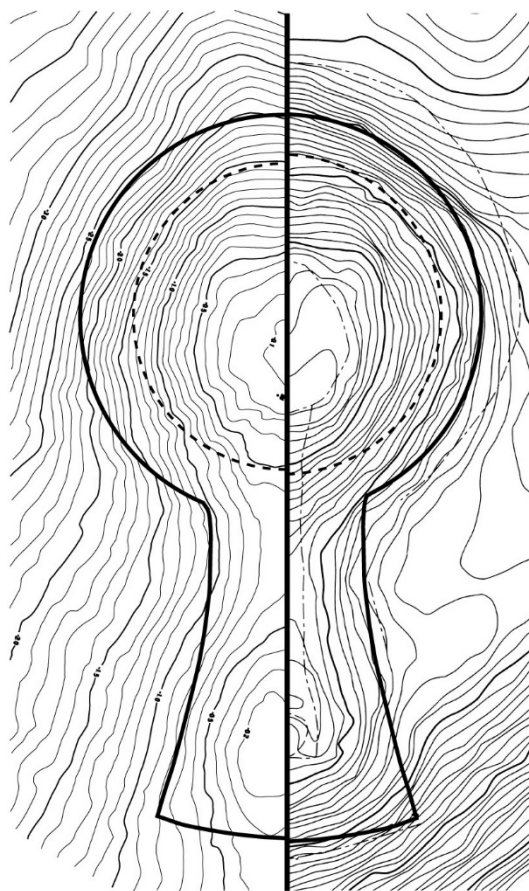


榊神社裏山 2 号墳赤色立体地図（縮尺 1/300）



榊神社裏山 2 号墳の位置

<参考>



椰神社裏山2号墳 龍子三ツ塚1号墳

龍子三ツ塚1号墳と椰神社裏山2号墳の墳形の比較